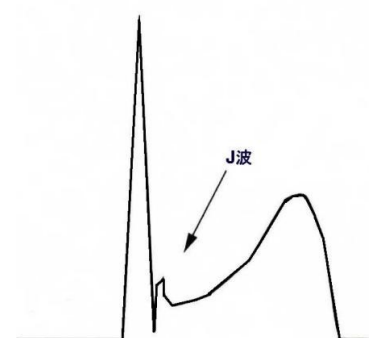
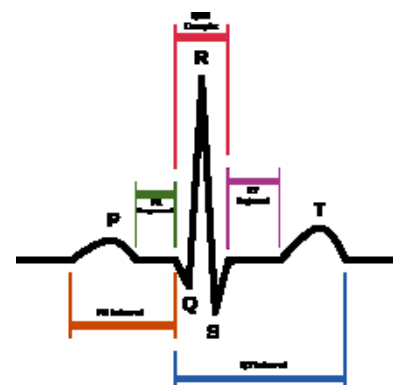


# 早期再分極について

[ \_\_\_\_\_ ]さま

## 【早期再分極について】

- 早期再分極 (ERP) とは心電図で得られる所見のことです。
- 以前は後棘波・J 波など呼称された時期もあります。良性の歪形所見と考えられ臨床的意義は無いと考えられていました。
- しかし近年、不整脈の出現と密接な関連がある場合があります。ことに特発性心室細動の基質として注目されるようになり循環器専門家の間では注目されています。
- 早期再分極の所見は、肥大型心筋症、スポーツマン心臓、高K血症、QT短縮症候群などでは頻度が増えますが、健常者でも 5%程度に認められるものです。



## 【特発性心室細動とは】

- 心臓に特に原因がないのに、心室細動が発生する場合、特発性心室細動 (idiopathic ventricular fibrillation, IVF) といいます。かなり稀ではありますが、なんの病気もないのに若年方が突然死することがありますが、この疾患との関連が示唆されています。

## 【対応について】

- 健常な方でも、早期再分極は 1-5%にみられます。一方、問題となる特発性心室細動は 10 万人あたり 3 人以下で、かなりまれです。早期再分極がある方で、特発性心室細動が生じる確率は一万分の一以下です。
- したがってこの所見がでたからといって、特に心配はありません。ただ、過去に原因なく失神したことがある方や、家族・親戚に突然死した方がおられる方は、上記の疾患を懸念します。循環器専門機関を受診してください。

上記内容を説明しました。

平成 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日 \_\_\_\_\_ 科